

人間と災害に関する3つの話題

①着々と進む防潮堤工事



大船渡市の防潮堤(2014年7月 撮影:御木茂則)

映画『フレイフレー山田』監督の御木茂則さんから、若手県大船渡に建設中の巨大防潮堤の写真が届きました。

『復興税の使われ方を実感できました』というコメントが添えられていました。

若手県沿岸広域振興局土木部の資料によると、新しい防潮堤の高さは、設計津波高6.5メートル(海拔)に地盤沈下分の1メートルを加えた7.5メートル。既存の防潮堤と比べて「倍近い高さになるそうです」。

we support!
RQ
災害教育センター

MONTHLY

「東北に黒龍を送ろう! 大作戦しんぶん」改め
復興支援『すけさきた』
かめぼし
しんぶん

「すけさきた」とは
宮城県登米市あたりの言葉で
「ボランティアに来たよ」という
意味である

SEPTEMBER
11
2014



②被災漁港を狙った密漁事件相次ぐ

東日本大震災以降、若手県内では、手薄となった監視体制をついた密漁が相次いでいる。今回の事件では、津波で被災し外灯などがなくなつた下荒川地区の小白浜漁港が水揚げ場所に選ばれた。昨年8月に約166キ口が密漁された事件の現場となつた昔代村の漁港も集落から離れた被災漁港。災害で生まれた「死角」を狙った卑劣な犯行に、漁業者らは怒りに震えている。

密漁したアワビは、漁が禁止されている殻の大きさが9センチに満たないものが半数近くを占めていた。唐丹町漁協では震災後、アワビ水揚げ額の一部を組合員が出し合つて監視船を購入し警戒を続けていたが、川原敬理事は「またかという気持ち。小さいものまで獲られたら、育つまで2〜3年くらいは影響がある」と憤りを隠せない。

調べによると、容疑者らは先月24日から25日にかけて、若手沖でアワビ約250キ口・2060個を11月の漁解禁前に密漁し、所持した疑いが持たれている。4人は25日午前3時前、釜石市の唐丹湾内で水揚げしようとしたところを警察に見つかり、車で逃走、近くの漁港で逮捕された。



先月25日午前3時前 釜石市の唐丹湾内で水揚げしようとしたところ 警察に見発見・逃走
画像:日テレNEWS24

③広島・大規模土砂災害 古い地名は警告していた

(8月26日フジテレビ、wikipediaほか)8月20日午前3時20分から40分にかけて、局地的な短時間大雨によつて広島市北部の安佐北区可部、安佐南区八木・山本・緑井などの住宅地後背の山が崩れ、同時多発的に大規模な土石流が発生した。特に被害の大きかった安佐南区八木地区は、かつてその一帯が「蛇落地悪谷」(じやらくしあしたに)と呼ばれていたと住民の1人は話し、別の住民は「蛇が降るような水害が多かつた事から、悪谷と呼ばれていたそうだ」と話した。

後日の報道で「上薬地」という表記の地名が古い地図では昭和40年代まで残り、浄楽寺の先代住職が「蛇落地伝説」を伝承し、地域の小学校の記念誌にも寄稿していることが報じられた。また、広島市郷土資料館や安佐南区役所に問い合わせた所、「蛇落地」・「悪谷」が存在したことを示す資料は無いとのこと。



「出水」や「陰谷」などの暗い印象の地名は『ハザードマップ』のような機能をもっていた。東日本大震災の際にも、石碑や古道、古い地名が過去の災害を伝える役割をしていたのではないかと報告が多く寄せられた。(2011年9月23日発行『すけさきた』立秋号記事『過去からの警告』ほか)しかし、分譲地にする際などに明るいイメージに改名されてしまうと、その機能は失われる。

画像:フジテレビ「とくダネ!」

この報告は8月11日、第2回「東日本復興支援まつり」が開催されました。エコー協会からは、卓玩具を飾ったカードと、雪中見舞ダンスショーをお楽しみしました。
資料:若手日報website、日テレNEWS24、フジテレビ、wikipedia